



広報

つながあいます めくもりのあるサービス

社会福祉法人やまゆり だより



皆様、あけましておめでとうございます。

平素はご愛顧を受け賜り、厚く御礼申し上げます。本年も一層のご支援、お引立てを賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

一月は陰暦で睦月と申します。睦月は陸び月（むすびつき）から転じていると言われ、仲睦まじいこと、親しみ合うなどの意味を持ちます。睦月の意味を噛みしめ、法人のサービス提供基本理念「つながあいます めくもりのあるサービス」に繋げて参りたいと思います。

本年が平穏で平和な一年でありますように祈念致します。

令和2年1月吉日

社会福祉法人やまゆり 理事長 石崎 文久

contents

- 2～4 やまゆり事業所紹介
 - ・やまゆり訪問介護事業所
 - ・せせらぎの家、はつらつホーム
- 4 法人からのお知らせ など

社会福祉法人 やまゆり
〒693-0522 出雲市佐田町一窪田 1961-5
電話 (0853) 85-8000 Fax (0853) 85-8010

<http://www.izumo-yamayuri.or.jp>

令和2年(2020)1月21日発行

令和という新しい元号となり、初のお正月を迎えるにあたり今年は法人の玄関に門松を飾ることにしました。

飾り物は職員の自宅に自生している植物をもらい、作成は総務課の職員が半日かけて作成しました。



総務課の竹下と申します。人生で初めて門松を作りました
^^；
竹や松、その他を配置する際のバランスがとても難しかったです。でも、出来上がると思っていた以上に上手に出来たと感じました。

JAしまねラピタ様から「歳末チャリティー」として令和元年12月9日に“ミカンとバナナ”を頂きました。



令和元年11月12日、民生委員さんと交流会を行いました。

生演奏に乗せて、皆さんで楽しく歌ったり、ゲームをして楽しい時間を過ごしました。

ご寄付をいただきありがとうございました

皆様のご厚意は、社会福祉法人やまゆりの福祉事業に活用させていただきます。

ここに謹んでご厚情に感謝し厚くお礼申し上げます。(令和元年10月19日～令和2年1月21日受付分まで)

【香典返し】

川合 達夫 様 (故 守二 様) 【八幡原】
永島 長徳 様 (故 ヨシミ 様) 【大呂】
佐々木 孝子 様 (故 岸 マツ子 様) 【佐津目】
桐原 隆宜 様 (故 良吉 様) 【反辺】
田中 伸吉 様 (故 清子 様) 【大呂】
柳楽 誠 様 (故 文江 様) 【毛津】
竹下 治 様 (故 貞子 様) 【東村】
園山 一恵 様 (故 彰 様) 【毛津】
森立 良幸 様 (故 キミコ 様) 【反辺】
多々納 勝 様 (故 正治 様) 【朝原】

【一般寄付】

田原 光晴 様 【一窪田】
佐田ライオンズクラブ 様
佐田地区社会福祉協議会 様
匿名 様 (1名)



やまゆい訪問介護事業所

皆さんこんにちは！一日一日寒さが増す今日この頃、いかがお過ごしでしょうか？
私たちヘルパーは、寒さに負けないよう、おいしい物をたくさん食べ、笑顔と元気な挨拶を皆さんに届けられるよう頑張っています。

昨年12月の異動で新しく職員を迎え、現在6人のヘルパーで訪問しています。

昨年12月より、訪問介護事業所で勤務させていただいている高野です。
ヘルパーになり1ヶ月が過ぎ、ご利用者様やご家族様にも顔を覚えていただき毎日楽しく訪問させてもらっています。

ヘルパーを待って下さっている方のために一生懸命頑張ります！！



今回も、実際に訪問している事例をもとに、訪問の様子を紹介したいと思います。

【事例】

Aさん（女性）90歳代、週2回の入浴介助に訪問していましたが、立つことが難しくなり、右側への傾きもみられた為、ケアマネジャー、かかりつけ医に相談し入院となりました。脳梗塞の診断でしたが、早期発見、早期対応ができたことで、2週間ほどで退院となりました。

【支援内容】

退院後、自宅での入浴は難しくなり、週1回のデイサービス（入浴）とヘルパー訪問を週5回に増やし、清潔を保つ事、身体の観察などを行いました。Aさんは右側に軽度の麻痺が残っており「なかなか思うやに動かんでね…。」と言われ、ご自分から体を動かす事はあまりありませんでしたが、ヘルパー間で話し合い、ご本人様の「できる事、できない事」を明らかにし、体拭きや更衣の際、できる事はご本人の力でしていただくよう計画しました。（残存機能を活かし、現状の維持、向上を目指した。）

- ①ズボンの裾を広げ足を入れるよう声かけを行う⇒麻痺側の足もゆっくり上げ、裾に入れていただく。
- ②上着の袖を広げ手を入れるよう声かけを行う⇒麻痺側の手も出来る範囲で自力で上げ、袖を通していただく。
- ③仰向けの状態で両膝を立てていただき「1、2、3！」の声かけと共に両下肢に力を入れてもらう。⇒お尻が浮きズボンを上げる事ができる。（ヒップアップ）
- ④麻痺の無い左手で出来る事も声かけした。⇒体拭きや歯磨きも自分でしていただいた。（拭きにくい所や、仕上げ磨きはヘルパーが対応した。）
- ⑤右麻痺の為しゃべり難さもあったが、色々な話題を提供し発語を促した。⇒積極的な発語がみられ、聞き取りやすくなってきた。

【現在の様子】

上記の内容を実践した結果、麻痺側のリハビリになりだんだんと体の動きが良くなってきました。また、今まで歯磨きの習慣がなかったAさんですが、訪問の度に歯を磨くことが習慣化され、口腔内の清潔も保てるようになりました。（誤嚥性肺炎や認知症予防にも繋がる）

私たちヘルパーは、利用者様の持てる力を活用することで、できるだけ長く自宅で自立した生活を送れるよう、これからも専門職として自立支援・重度化防止に努めていきたいと思っています。

せせらぎの家 はつらつホーム

謹んで新春のお祝い申し上げます。皆様にはお健やかに新年を迎えられた事と存知ます。
昨年中は皆さまには大変お世話になり有難うございました。せせらぎの家ではご家族様、地域の皆様に支えられ安心して過ごす事が出来、昨年も入居者さまと一緒に新しい取り組みを行う事が出来ました。

田植え



コシヒカリを植えました！！

水やり



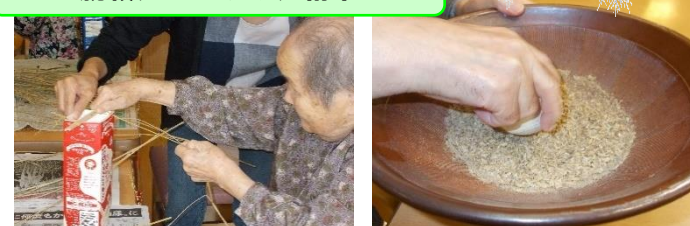
暑い日の水やりは大変でした(^_ ^;)

待望の稲刈り



皆さん慣れた手つきで作業できました。

脱穀、もみすり、精米



初めての試みで何もかも手作り、手作業でした米粒、量は今一つでしたが皆さんの手間と愛情のこもった米は天下一品のせせらぎブランド米です

せせらぎの家では入居者様がいきいきと楽しんで取り組める行事と一緒に計画し行っています
作年は収穫の年でした。今年もまた入居者、職員共に、楽しい一年になりますよう力を合わせて頑張っていこうと思っております!(^_^)!

小豆作り



一昨年に続き昨年も挑戦しました



昨年は一昨年より更に沢山収穫できました！！ぜんざい、赤飯にして食べました。毎年恒例行事の餅つきにも小豆を餡にして使いました!(^_^)!



『小豆作り』を通して、利用者さんと過ごした日々について事例発表を行いました。

出雲市グループホーム連絡協議会研究、実践発表会にて健康福祉部長賞を頂きました。